

# 武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会通信

Vol. 4

平成 28 年 10 月 25 日

発行／編集 武蔵野市健康福祉部地域支援課

## 平成 28 年度第 1 回在宅医療・介護連携推進協議会

平成 28 年 7 月 4 日(月)に平成 28 年度第 1 回協議会を開催しました。

27 年度の事業活動報告を行ったほか、医師会から「武蔵野市在宅医療介護連携支援室」の実績報告を行って頂きました。また、28 年度の事業計画等について、全体で協議しました。



### ■平成 28 年度に取り組むべき事項…平成 28 年度第 1 回在宅医療・介護連携推進協議会 資料より

項目	課題
地域の医療・介護の資源の把握	・把握すべき情報、把握方法の検討
切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築（入退院時支援）	・平成 28 年 4 月の診療報酬改定への対応（退院時支援の強化…市内の現状の把握） （多職種連携ツールとしての脳卒中パスの活用等）
医療・介護関係者の情報共有の支援	・ICT 連携の現状と課題、対応策の検討
医療・介護連携に関する相談支援	・支援室の相談内容の分析と課題抽出 ・市内医療・介護関係機関の情報収集と活用
医療・介護関係者の研修	・研修の実施 ・職種別情報交換会実施
地域住民への普及啓発	・講演会、シンポジウムの開催 ・在宅療養リーフレットの作成と効果的な配布

### ■平成 27 年度 在宅医療介護連携支援室 活動実績

相談件数（平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月）			121
相談内容	在宅療養	※在宅療養調整	65
		入院入所調整	9
	退院支援	在宅療養調整	1
		転院支援	4
	その他		42

#### 相談対応以外の活動

医療・介護連携の関係会議への参加（71 件）  
医療・介護資源把握を目的とした医療機関訪問（113 件）



# 多職種合同研修会

8月2日（火）、市役所 811 会議室にて、多職種合同研修会を開催しました。

27年度の研修会は、「部会としての関与が少ない」というご意見をいただき、28年度は、研修会の前後に「多職種連携推進・研修部会」を開催し、部会による企画・運営・評価を実施することとしました。

また、研修内容については、部会から有志を募り、2回のコアメンバー会議で準備をしました。

## 「在宅医療・介護連携推進協議会」が実施する多職種研修の目的

- ★ 多職種が話し合う機会を設けることにより、顔の見える関係・相談できる関係づくりにつなげる。
- ★ 多職種がグループワークを通して、各職種の役割や専門性を理解する。
- ★ 多職種連携やグループワーク等、参加経験の少ない者を優先的に勧奨し、顔の見える関係づくりを広げるとともに「在宅医療・介護連携推進事業」について理解する人を増やす。

部会・事務局の問題意識

多職種連携とは言うものの、いつも同じ人が集まる。  
「在宅医療・介護連携推進事業」を知らない人も多い。  
多職種連携の裾野を広げたい。

## 内容：事例を通したグループワーク

参加者：各事業所連絡会より推薦された者

参加者数 70名（申込：75名）

居宅介護支援事業者	10	通所介護・通所リハ	6
医師会	10	在支・包括	7
武蔵野赤十字病院	4	福祉公社	1
訪問看護・訪問リハ	8	薬剤師会	1
訪問介護	9	行政（保健所含む）	14



1グループ8名 8グループ作りしました。

## 本日の研修の目的

- 事例そのものの検討ではありません。  
⇒サービスを調整する検討ではありません。
- 市民の在宅療養生活を支援する、仲間と知り合う機会にします。
  - …顔の見える関係づくり
- グループディスカッションでの気づきを大切にします。
  - …職種、所属等による視点や役割の違いを理解する。
  - …相談できる関係づくり

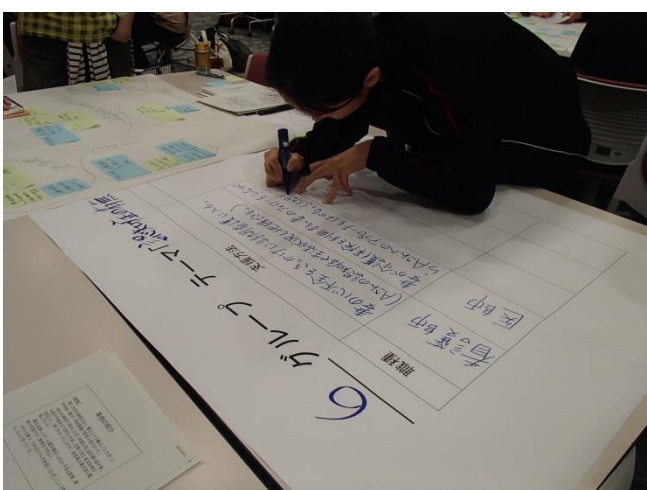
部会委員の事前打合せ  
部会委員がグループワークを進行します



## ○グループワークの様子



KJ法を使って意見を出し、意見を整理、分類していきました。



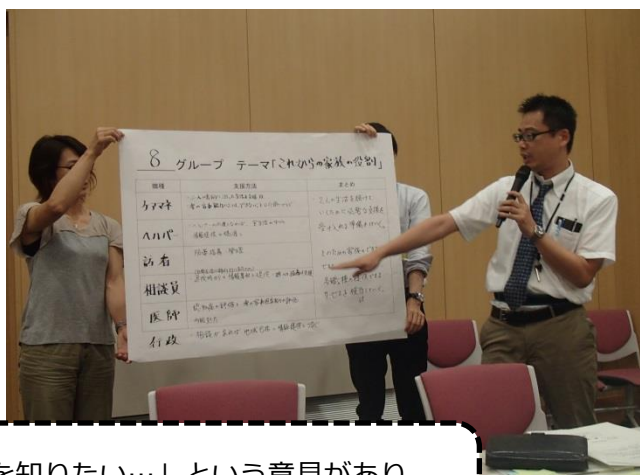
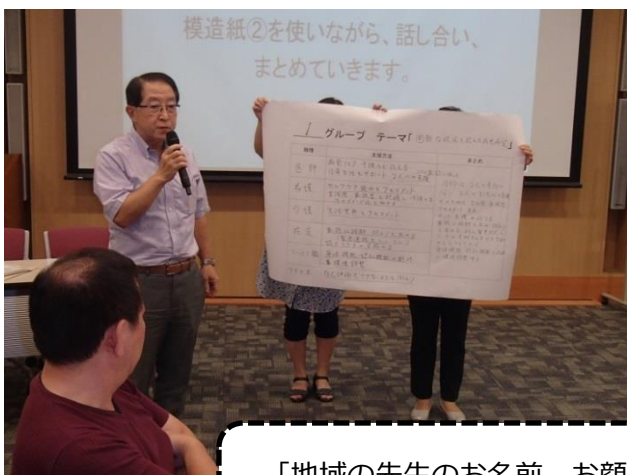
### グループディスカッションの進め方

1. 課題は何か？を付箋に書き出します。
2. 付箋を①の模造紙に貼っていきます。
3. 出された課題について、グループ内の意見を聞きながら、分類、整理します。
4. 3から支援についてのテーマを決めます。
5. 模造紙②を使いながら、支援方法について話し合います。
6. グループ討議のまとめをします。

### 参加者の感想

- KJ法になじみのない人も多い。
- KJ法により参加者全員の意見が出て良かった。
- KJ法による意見の整理、分類までは順調だったが、まとめに時間がかかった。

## ○発表



「地域の先生のお名前、お顔を知りたい…」という意見があり、グループワークの発表は、医師会の先生方をお願いをしました。



### 参加者の感想

- 今後、相談しやすくなった。
- たくさんの方々の顔が見られて良かった。
- 時間が足りなかった。
- 他職種の考え方の特徴を知ることができた。
- 各職種の役割が明確になった。
- 医師の意見を直接聞ける良い機会となった。
- 事例を検討すると個性が出る。
- 地域の様々な職種と話ができた。
- （連携について）一度では難しい。何度か参加できると良いと思う。
- 普段は電話や文書だけのやり取りの職種と顔を合わせることができた。
- 様々な職種の方も、みんな同じ方向性にあることが良くわかった。
- 自分だけで抱え込まなくても良い、ということがわかった。
- 実際に話ができたことで、今後の連絡調整に役立てることができる。

### 部会委員の意見

- 参加した職種のばらつきがあった。
- 月末、月初めは参加が難しい。
- 参加者は事業所連絡会等からの推薦ならば、早めの周知、参加依頼が必要である。（隔月実施の連絡会もある）
- KJ法により、平等に意見が出せると感じた。
- 参加する医師は、事前に打合せし準備して参加した。
- 職種による考え方の違いは理解できた。
- 協議する時間が足りなかった。
- グループワークとして深めることができなかった。時間不足。
- 発表者である医師が、グループをまとめていた。他の職種であったら、このようにできただろうか？と思った。
- （参加者が）いつものように決まった人ではなくて良かった。

「在宅医療・介護連携推進事業」(カ)医療・介護関係者の研修として、どんな研修を実施すれば、関係者の連携が進むのか？は今後も協議会等で検討していきます。

## お知らせ

■ 10月1日付で協議会委員の変更がありました。

氏名	所属	任期
清水 道雄	公益社団法人東京都武蔵野市歯科医師会	平成 28 年 10 月 1 日～ 平成 30 年 3 月 31 日
守矢 利雄	公益財団法人武蔵野健康づくり事業団	
鈴木 健太郎	公益社団法人東京都武蔵野市歯科医師会	平成 27 年 7 月 1 日～ 平成 28 年 9 月 30 日
山本 祥代	公益財団法人武蔵野健康づくり事業団	

■ 次回「平成 28 年度第 2 回武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会」は、11 月 2 日（水）午後 7 時～ 8 時 30 分・武蔵野市役所西棟 811 会議室で開催予定です。

【事務局】武蔵野市健康福祉部地域支援課（在宅医療・介護連携担当） 勝又・齋藤

〒180-8777 武蔵野市緑町 2-2-28 電話番号 0422-60-1941（直通）FAX 0422-51-9218

メールアドレス SEC-CHIIKI@city.musashino.lg.jp